

令和5年8月22日

第73次印旛地区教育研究集会

進路指導部会

提案資料

研究主題

「自立を促す教育活動の工夫」

～立志の会の実践を通して～



第三部会 印西市立小林中学校

田村 美樹

1, 研究主題

「自立を促す教育活動の工夫」

～立志の会の実践を通して～

2, 学区概要

平成2年度に開校し、今年度創立34周年を迎えた。本校学区はJ R小林駅を中心とした、小林小学校地区と小林北小学校地区の2つに大きく分けることができる。生徒たちはほとんどが徒歩通学であるが、現在15名が自転車で通学している。

近くには小林牧場があり、自然豊かな環境の中にある。古くからある地区と新しく開発された地区の住民がうまく融合し、地域の結びつきは強い。特に「さわやかコミュニティ推進委員」や「小林住みよいまちづくり会」などの地域の組織がしっかりと機能し、地域行事も盛んに行なわれている。保護者・地域住民とも学校に協力的な地区である。

3, 生徒の実態

明るく、気の優しい生徒が多い。リーダーを中心に互いに協力しながら、授業や学校生活を楽しく過ごしている。また、どの生徒もまじめで「やるべきこと」や「ルール」などは守ろうとする。何事にも興味を示し、説明をよく聞き、確認をしながら意欲的に取り組んでいる。しかし、自主的に考え、行動に移すことを苦手としており、リーダーとして積極的に活動する生徒に依存してしまうこともある。

そこで、コロナ禍で実践することができずにいた「職業人に学ぶ(1年生)」や「印西市生き活き体験(職場体験・2年生)」の代替えとして2年生の2学期に「職業人講話」「立志の会」を行い、学校教育目標の「自立と貢献」の「自立」を達成するために自分を見つめ直し、未来を考える機会を設けることにした。

4, 実践内容

【職業人講話】

(1) 目的

- ・働く人の話を聞くことにより、自己の職業適性について考え、進路選択における「自己理解」を深めさせる。
- ・働く人に接することにより、働くことの喜びや苦勞・生き甲斐など知り、望ましい「職業観」「勤勞観」を形成させる。

- ・報告会の活動を通して、体験したことをまとめ、発表する力を養う。

(2) 内容

- ・職業に関する講話（職業を選んだ理由、仕事内容、必要な資格、やりがい等）
- ・職業：消防署員、スポーツトレーナー、児童指導員（3名）

(3) 当日までの日程

月/日(曜日)	内 容		時数
9月 2日(金)		講師依頼文章郵送	
9月20日(月)～27(火)		各講師との内容確認、打ち合せ	
9月22日(金)	総合	参加したい講話のアンケート取り	1
9月27日(火)	総合	参加する講話決定と掲示	2
9月28日(水)～30(金)		司会者等、代表生徒への説明、指示	
10月 5日(水)	総合	当日・お礼状の作成	3・4
10月 7日(金)		お礼状の郵送	

(4) その他

- ・生徒は3種類の職種から2つを選択し、講話を聞く。
- ・感想文は講師の方に郵送する予定。
- ・感想文を基に、12月1日(木)の保護者参観日で総合的な学習時間の授業として「立志の会」を展開する中で、報告を行う。

【立志の会】

(1) 目的

- ・自己の行動に責任と自覚を持ち、大人への第一歩を踏み出すこと、自立を考えさせる。
- ・自他の関係性を考える中から、他者へ感謝する気持ちや社会に貢献する資質を高める。
- ・自分の夢について考え、将来に見通しをもたせる。
- ・発表を工夫することで、一人一人の表現力を高める。

(2) 内容

- ①作文発表（代表）：幾つかのテーマから作文を全員書き、各クラス3名が発表。
- ②職業講話まとめ（代表）：10月5日に行われた職業講話の内容と感想を発表。
- ③決意の一言（全員）：全員が色紙に墨書、一言を考えてステージで発表。

※①、②と全体司会者2名のいずれかに全員が1役受け持つ。

(3) 当日までの日程

月/日(曜日)	内容		時数
10月11日(火)	総合	ガイダンス, 作文の内容を考える。	1
10月14日(金)	総合	作文書き①	2
10月25日(火)	総合	作文書き②(完成)	3
10月27日(木)	総合	クラスで作文を発表する。	4
11月 2日(水)	学活	色紙に書く文字を決め, 決意の一言を考える。	5
11月 8日(火)	総合	色紙を書く。	6
11月15日(火)	総合	前: クラスで決意の一言を練習する。 後: グループ(司会作文1, 職業講話3)で話し合いや分担決め。	7
11月16日(水)	学活	グループごとに作業①	8
11月18日(金)	総合	グループごとに作業②	9
11月25日(金)	総合	グループごとに作業③	10
11月29日(火)	総合	前: 体育館で決意の一言を通して行う。 後: グループごとにリハーサル。	11
11月30日(水)	学活	全体リハーサル	12
12月 1日(木)	総合	当日	13

5. 成果と課題

(1) 成果

①生徒にとっての成果

キャリア教育の一環として職業に従事されている方から直にお話を聞き, 学んだこととしてICT機器を活用しながら内容を発表することができた。また, 自立や社会貢献について, 作文や漢字一文字にすることで, 生徒たちは深く考えることができた。

②教職員にとっての成果

生徒の自立を促す手立てや表現力を高める手立てとして, 学んだり, 考えたりしたことを生徒集団や保護者に向けて発表する機会を設定できた。また, 生徒がICT機器を活用して発表を工夫できるように援助を行うことができた。

③地域の方々にとっての成果

消防署員、スポーツトレーナーの方々など、地域の方、地域に勤務されている方のご支援をいただき、連携を図ることができた。

④保護者にとっての成果

コロナ禍で、学校の様子を直に見る機会が少なくなっている中で、授業参観として、子どもが自立や社会貢献に対して学習してきたことの発表の様子を見ることができた。

⑤学校にとっての成果

今回、従来の「職場体験活動」を行うことはできなかったが、本校の学校教育目標である「自立と貢献」の実現に向けた教育活動の手立てとして、行事を設けることができ、2学年のこの時期に自分たちのキャリアに関する考え方が深まり、3学年に向けた意識を育むことができた。

(2) 課題

①生徒にとっての課題

今回、職業に就いている方のお話や、同級生の意見を聞く機会をもち、自分の生き方に生かしていけるようにする。

②教職員にとっての課題

今回の行事を通して、生徒たちが体験したことや、考えたり気づいたりしたことを、今後の日常生活や行事に生かしていけるよう、支援・助言を行っていく。

③地域の方々にとっての課題

今後、感染状況を注視しながら、より地域の方々に関わっていただく機会をもち、中学生が広い視野をもって学んでいけるよう取り組んでいきたい。

④保護者にとっての課題

学校の教育目標である「自立と貢献」にご理解ご協力いただけるよう、今後の生徒の進路指導を含めたキャリア教育の活動を考えていきたい。

⑤学校にとっての課題

視野を広げ進路について決めていかなければならない中学生にとっては、適切なキャリア教育を進めていくことが大切であり、コロナ禍などの様々な状況においても、今後もその視点をもって、教育の充実を目指していく。